



龍板兒德街論
ロ
ン
バ
ー
ト
ス
ト
リ
ー
ト

卷之二

大藏省
翻譯課



114
A1121
4



第二編

龍拔兒德街概況

第一

大正十一年四月
隈侯爵邸寄贈

一團ノ金銀世界ナレ龍拔兒德街ニ於テ殊然羅列スルモノハ英國銀行私立銀行合本銀行及ビ手形取扱店ナリ今余輩ハ此等ヲ殊別ニ論述スル前ニ先ツ一般共有ノ事項ト互相ノ關係トヲ視察セラルベカラズ

リカルド氏曰ク銀行者ノ顯然タル職務ハ他人ノ金銭ヲ使用スルニ始マルナリ自己ノ金銭ヲ使用スル間ハ渠レモ亦一個ノ賤本主タルニ過キスト夫レ然リ故ニ龍拔兒德街ニ在ケル諸銀行手形取扱店ハ獨リ此趣意ニ就テノミ銀行者中ノ一種ニ屬スハ流通點定又ハ受託金ニテ他人ニ屬スル夥多ノ金貨ヲ所有セリ

歐洲ノ通語ニ云ク龍拔兒德街ハ信用ノ組織ナリト

信用ノ組織ナルモ

ノ此社會一般ノ取引ノ基礎ナリト云
ハ是ナルヤ非ナルヤヲ觀察セント欲ス若シ是非混交シテアラ
バ多分ハ然ラシ其ノ効績ハ如何ナルヤ其ノ欠典ハ如何ナルヤ
ヲ檢出セント欲スルナリ

蓋シ信用ノ此ノ仕組ト彼ノ仕組ト相異ナル所ノ要點ハ確實ノ
如何ニ存スルナリ但シ信用トハ幾分ノ信據ト幾分ノ信依トヲ
含蓄スルノ意味ナレバ其信依ハ果シテ証認スベキモノナルヤ
其信據ハ果シテ智巧ナルモノナルヤハ竝モ重要ノ問題ナリ是
ヲ約言セバ信用ハ拂フベキ一箇ノ約束ナリ其約束ハ果シテ保
守サレキヤト云フカ如シ殊ニ銀行ノ如キ負債即チ拂フベキ
約束夥多ニシテ且ツ拂フベキ時期ノ尤モ切迫ナル所ニ於テハ
立所ニ其ノ契約ヲ應スルノ能カコソ竝モ主要ナル妙技ナリ
凡ソ銀行者カ其ノ債主ニ拂ハンガ為メニ要スル第一ノモノハ

其ノ法債ノ何ナルヲ問ハズ自國ノ法債ノ充分ニシテ能ク供給
ニ足ルニアリ但シ法債ノ法ハ各國其ノ制ヲ異ニスレバ銀行ノ
本旨ニ就テハ其ノ制ノ如何ヲ問フコトヲ要セス抑モ金融ノ法其
ノ宜キヲ得ルハ竝モ其ノ國ヲ利シ其ノ法宜キヲ得サルトキ
ハ竝モ其ノ國ヲ害スルモノナレバ銀行者ハ間接ニ於テ自國ニ
利害ヲ与フルモノナレバ實際生計ノ目的ニ就テハ金融ノ理論
ハ之ヲ思考スルヲ要セス又ク思考スルヲ見ズ渠レ等ハ單ヘニ
実物ニ着目スルノミ渠レ毎ニ言フ余ハ法債ヲ以テ其々高ヲ拂
フベキノ義務アリ今我が金庫中ニ就キ又ハ我が手段ニ由リ直
ニ此高ノ法債ヲ辨シ得ベキヤト之ヲ例センニ並米利加ニ於テ
銀行者ハ「グリーン」ンベツトニ米回革命ノ戰爭中ヲ所有スルヲ以テ
實ニ十分ナリトモリ但シ此紙幣ハ政府カ都合ヲ以テ其發行高
ヲ増減スル毎トニ其相場ハ從テ浮沈スルモノナレバ老練ナル

ニューヨークノ銀行者ハ此仕組ノ良否ニ就テハ全ク思考ヲ費
 ヤスナク唯然ラ見積リノ要求ニ應レ何時ニテモ拂渡サン為
 メニ十分ニ「グリーンベック」キスラ所持スルヲ要スルノミ然カセ
 バ渠レ等ハ公正ニ破産ノ危険ヲ免レテ安全ナルモノナリトセ
 リ

英國ノ法制ニテハ法貨ハ金銀貨幣(銀貨ハ極メテ少額ノミ)及ビ
 英國銀行ノ紙幣ナリ然レモ我カ此ノ通用紙幣ノ數額ハ「五米利
 加」「グリーンベック」キスノ如ク政府ノ意向ニ支配サル、モノニ
 非スレテ一千八百四十四年ノ銀行條例ニ由テ制限ヲ立テラレ
 タルモノナリ蓋シ此條例ニ於テ英國銀行ヲ兩部ニ分割シ其一
 部タル発行局ハ紙幣ヲ発行スルノミヲ職トシ而シテ政府ノ抵当
 物(公債証券其外)ニ拠テ発行スルヲ得ル高ハ千五百万磅ニ限リ
 其ノ餘ハ總テ金銀塊ヲ貯蔵セサル可ラス茲ニ近今數年間ノ平

均勘定ヲリト思考スル一班ノ勘定ヲ掲ゲテ其ノ例ヲ示サン即
 チ一千八百六十九年ノ最後ノ一週間ノ勘定ナリ

ウィクトリア布告第三十二号ノ銀行條例第七條及ビ第八
 條ヲ遵守シタル一千八百六十九年十二月二十九日ナル水
 曜日ニ終ル一週間ノ統計表

発行局

発行紙幣	三三、二八八、六四〇	公債証券	一一、〇一五、一〇〇
		此外抵当物	三、九八四、九〇〇
		金貨及ビ金塊	一八、二八八、六四〇
		銀塊	、、、、、
	三三、二八八、六四〇		三三、二八八、六四〇

銀行局

銀行持主ノ資本	一四、五五三、〇〇〇 磅	政府抵当物	一三、八一、九五三 磅
公共預リ金	三、一〇三、三〇一	其外抵当物	一九、七八一、九八八
内譯	八、五八五、二二五	紙幣	一〇、三八九、六九〇
租稅寮		金銀貨	九〇、七九八二
國債寮			
貯藏銀行			
分配助定			
其外預リ金	一八、二〇四、六〇七		
七日切手其外切手	四四、五、四九〇		
	四四、八九一、六一三		四四、八九一、六一三

出納方主幹

一千八百六十九年十二月三十日

ゼオ、フラルビエス

是ニ由テ之ヲ觀レハ千五百万磅ノ銀行紙幣ハ政府ノ抵当物ニ
 拠テ発行シテ千八百二十八万八千六百四十磅ハ正金銀ノ代リニ
 発行シタルナリ抑モ英國銀行ハ國法ニ於テ此方法ニ由ラレ
 バ別ニ通用貨幣ヲ増加スルノ權カヲ有セザルカ故ニ紙幣ノ準
 倫ニハ條規通りノ抵当物ヲ貯ヘ置キ其餘ハ總ラ金銀塊ヲ備藏
 セサルベカラズ所謂ル「カスト、アイロン、レステム」條規論者ハ發行
 者ノ當否ヲ論シ其鋒相結シテ解ケナルモノニシテ條例ノ抗論者
 ガノ當否ヲ組ナリト云フノ比喩語ナルモノニシテ條規ノ抗論者
 ハ吾輩ヲ破滅スルト云々其黨与者ハ吾輩ヲ救護スルト云々恰
 モ論鋒固結ノ戦境ナリ然レモ余ハ此仕組ノ如何ニ由テ復タ何
 ヲカ為マンヤ要スルニ余カ主音ハ我ガ銀行紙幣ナル合法紙幣
 八只ニ此方法ニ因テ作ルヲ得ベント云フニ止ルノミ此ノ如

キガ故ニ他ノ英國ノ銀行者ハ其負債ノ割合ニ相應シテ英國銀行紙幣又ハ金銀貨幣ノ若干高ヲ貯蔵セバ則チ我國ノ本貨ノ十分ナル高ヲ所有スルモノナレバ又一事ノ渠レ半ク思慮ヲ勞スベキナレ

然ツト雖此茲ニ一ノ區別ヲ立ツベキアリ我輩ハ銀行ガ日々ノ職業ヲ施行スル為メニ所有スル所ノ法貨即チ正金ヲ其準備金ノ中ニ混算スベカラズ但シ此法貨即チ正金ハ日常ノ營業資本ノ一部分ニシテ猶ホ其日用ノ几案又ハ社局ノ建物ニ異ナルヲナレ此ノ如キヲ以テ日々ニ入用ナル金庫中ノ此ノ正金ト非常不意ノ要求ニ應センカ為メニ貯蔵スル非常準備金ナル用意ノ資^金吾輩ガ呼做シテトハ幾何カ細心ニ之ヲ區別セザルベカテス

然ラバ前述ノ説明ニ從フハ銀行ク其負債高ニ對シテ所有ス

ル法貨ノ總額ハ幾何ナルヤト問フ人アランニ此答語ハ軍モ着目スベクシテ且ツ吾々立論ノ全体ヲ闡說スルノ鍵ナレハ乃チ淵太明亮ニ答テ云ハントス英國銀行ノ銀行局ヲ除クノ外龍動ノ各銀行及々其他ノ銀行ハ一トシテ正金又ハ法貨ノ著ルニ高ヨ所有セサルナリト(非常ノ營業ニ入用ナルモノ、外ニ)即チ一千八百六十九年十二月二十九日ニ於テ該銀行局ノ負債高ハ左ノ如シ

公共預リ金	八、五八五、〇〇〇 磅
私有預リ金	一八、二〇五、〇〇〇
七日切手及々其外切手	四四五、〇〇〇
合計	二七、二三五、〇〇〇

而シテ豫備ノ正金ハ千百二十九万七千磅ナリ是レ全ク準備正金ノ總額ニシテ英國銀行ノ銀行局(吾輩澁難ニ呼称シテ)即チ該銀

行ガ銀行營業ノ為メニ國法ヲ遵守シテ所持スルモノタルガ故
ニ吾輩ハ細心ニ之ヲ記憶セザルベカラズ又該銀行局ハ他ノ銀
行ノ如クニハ其紙幣ヲ増製スルヲ能ハサルナリト記憶セザル
可カラズ諸君英國銀行ク此日十月二十九日指スルニ於テ其金庫中ニハ
只千百二十九万七千磅ヲ所蔵セシノミ而シテ此高ニ殆ト三倍セ
ル負債高〇七、二三、五〇ニ當ツルモノトセリ細心ニ記憶セザル
照又該銀行ハ公債証書及ビ其他ノ賣買スベキ抵当物ヲ所有ス
ルカ故ニ之ヲ賣却スレハ則チ其銀行紙幣ノ供給ヲ増加スルナ
ルベシ他ノ銀行ノ如ク紙幣ヲ増製スルニ應ス蓋シ此ノ如キ抵当物ト正金
トノ關係ハ今次ニ論辨スベケレドモ該銀行ク銀行營業ノ為メ
ニ所持セシ正金ハ實ニ前記ノ高ノミニテ其餘ニハ一錢ガモ所
持セザリシナリ

今吾輩ハ他ノ諸銀行ノ情況ヲ查見セバ此事ニ就テハ大ニ善ク
考案ヲ下スヲ得ベシ蓋シ他ノ銀行ハ日々ノ營業ニ入用ナル
モノ、外其ノ金庫中ニハ別ニ巨大ノ金額ヲ所蔵スルヲナク總
テ運動ノ銀行ハ其重テナル準備金ハ英國銀行ノ銀行局へ預託
金トシテ備へ置クノ法ニシテ使用ノ道ニハ竄モ容易ニシテ且
以安全ナル場所ナリト云フベシ此ノ如クナレハ英國銀行ハ亦
タ之ヲ安全ニ保護スヘキノ義務ヲ負擔スルモノナリ〇世人カ
其預託金ヲ銀行者ノ安全ニ保守メンヲ望ムト同一ナル條理
ニテ銀行者モ亦他ノ銀行者ク其準備金ヲ安全ニ保守セバ之ニ
依託センヲ望ムナリ畢竟巨額ナル正金ノ守護ハ許多ノ注意
ト幾何ノ出費トヲ掛ケサル可カラサルガ故若シ自カラ斯ル勞
苦ヲ受ケスミテ之ヲ安全ニ保守スルノ便アラハ各人皆ナ之ヲ
他者ニ譲ランヲ欲スルニヨリ英國銀行ニ信憑ヲ置ク所ノ詭
動ノ諸銀行ハ其準備金之ニ預託シテ保護セシムルナリ

龍動ノ手形扱店モ殆ト銀行ト同一ノ事ヲ為スモノナルガ實ニ
銀行社中ノ一別種ニシテ該手形扱店ハ其受託金ニ日歩ノ利息
ヲ付与スルノミナラズ概ネ其代リニ抵当物ヲ授クルヲ常トス
是レ則チ他ノ銀行ト相異ナルノ点ノミ然レモ斯ル些少ノ相違
ノミナレハ敢テ此ニ之ヲ論セザルナリ抑モ該手形扱店ハ其貸
幣ノ過半ヲ人々ニ貸付ケ其餘金ヲ以テ英國銀行又ハ或ル龍動
ノ銀行ニ預託スルナリ若シ龍動ノ銀行ニ預託スルハ該銀行
ハ其中ニ就テ適宜トナス丈ケノ金貸ヲ其貸付ケニ充テ殘餘ハ
悉ク英國銀行ニ預託スルヲ常トス此ノ如キガ故ニ流通循環ノ
道ハ如何ナルニモセヨ例モ終ニハ英國銀行ニ回リ来ラサルハ
アリサルナリ
然リト雖モ凡ソ銀行者ニ巨額ノ金額ヲ預託スルハ一危険ヲ
以テ一便益ヲ買ヒ得ルモノト云フベシ何ニトナレバ其ノ銀行

若シ破産スルコトアラバ再ノ預託セシ所ノ金額ノ如キハ勿論之
ヲ失ハサルヲ得ザレバナリ又タ總テ銀行者ハ其ノ準備金ヲ英
國銀行ニ預託スルニヨリ英國銀行ノ破産ニ過ハバ亦從テ破産
セザルヲ得ス故ニ各銀行ハ其ノ危急困難ノ日ニ臨ンデハハニ
英國銀行ノ措置ニ之レ依ラサルヲ得ザルナリ此一殺ニ就テハ
實ニ著ルニキ危急アリ此ニ之ヲ証センニ「ポール」ス「アクト」ハ該銀
行局準備ノ空虚ナルカ為メニ三度ニ其效ヲ失ヒタルコトアリ即
チ該銀行ガ此條例ヲ破リタルハ左ノ如クナリキ
該銀行局ノ豫備金
千八百四十七年ニ於テハ
百九拾九万四千磅ニ減縮シ
千八百五十七年ニ於テハ
百四拾六万二千磅ニ減縮シ

千八百六十六年ニ於テ

三百萬磅ニ減縮セリ

實ニ是レ半ノ年ニ當リ此條例ヲ破ルニ非ザレハ英國銀行ノ銀
 行局ハ豈維持保存シテ今日アルヲ能ハンヤ
 又此ノ如キ危険ハ實理ヨリ來ラスレテ構造ニ出デ且ツ法律ノ
 為メニ生ズルナリト妄想スベカラズ蓋シ吾人ノ動モスレバ此
 ノ如ク思考スルノ恐レアリ何トナレハ余輩屢々此條例ヲサヘ
 破ブレバ此危険ハ救治シ得ベシト云フ詭ヲ聞クコトアレバナリ
 然レモ此危険ナルモノハ條例発行ノ前ヨリ既ニ儼然トシテ存
 在シタルヲ見ルナリ其ノ証ハ法債ハ只金銀貨ノミニシテ且ツ
 該銀行中ニ只一局ノミ設ケアリシ一千八百二十五年ノ當時ニ
 於テ該銀行ハ其ノ準備金ヲ百零二十七萬磅マテニ減縮レ將サ
 仕拂ヲ差止メントセリハ實ニ容髪ノ間ニアリキ

然リト雖氏斯ク預託ヲカシタル銀行ノ家々ランシスル所ノ危
 險ハ獨リ此ノ如キ方法ヲ以テ龍動準備金即チ諸銀行ノ準備金ヲ保守スル
 ヲリ生ズルニハ非ラズレテ其ノ重モナル結果ハ其ノ負債高ノ
 割合ニハ準備金ノ高相當ヲ得スレテ甚タ僅少ナルニ在リト云
 ハザル可カラズ既ニ開陳セル如ク龍動府内ニ在ル諸銀行ノ准
 備金ハ悉ク英國銀行ニ預託シ該銀行ハ常ニ其ノ過半ヲ貸出シ
 ニ使用スルナリ茲ニ便宜ノ假定ヲ用テ該銀行局ハ總テ其負債
 高ニ對シ五分ノ二以上ヲ正金ニテ所蔵スルノ定規ナリトセヨ
 又々其ノ預託金ノ五分ノ三ヲ貸出シ只其ノ二分ノ五ヲ準備
 トシテ備ヘ置クモノトセヨ然ルハ諸銀行ヨリ預託スル豫備金
 ノ總額五百万磅ナレハ該銀行局ノ其中三百万磅ヲ貸出シ残り
 二百万磅ヲ金庫ニ蔵メ置クズレシ此ノ如クナレハ二百万磅ナル
 高ハ預託ヲナレタル諸銀行ヨリノ負債ニ對シ真個ニ正金ヲ以

ヲ備ヘ置クノ総額ナリ若シ龍拔兎德街カ一旦不意ニ其ノ仕拂
ノ局ヲ結ビ立所ニ出来得ル丈ノ仕拂ヲ為サザルヲ得ザルニ際
シ該銀行局ガ直ニ預托ノ諸銀行ニ拂ヒ得ル總高ハ此二百萬磅
ノ外ニ出テサルベシ然ルモ諸銀行カ預托金ヲ為シタル各人
ニ即時ニ拂ヒ得ル高モ亦タ從テ此二百萬磅ト其手元ノ金庫ニ
アル端金トノ外ニ出テサルベキナリ
是ヲ以テ英國銀行ノ豫備金ハ近年ノ平均ニテハ稍々一千萬磅
ナリシカ以前ハ尚ホ甚タ僅少ナリキ龍拔兎德街ノ負債ニ對シ
所藏ノルルノ總額ナルヲ知ルベシ若シ此額カ果シテ準備ノ
總數ナラバ吾輩ハ突ニ英國ノ通語ニ所謂ル我カ信用法ノ發達
ノ盛チナルニ驚愕セザルヲ得ス即チ需求ニ應シテ拂フヘキ負
債ノ巨額ニシテ其需求セラルニ於テ拂ハング為メニ備フル
所ノ現金高ノ僅少ナルニ驚愕セザルヲ得ザルナリ然レモ尚ホ

次々之ニ止マラサルモアリ其故ハ龍拔兎德街ノ獨リ準備金
ノ預托マンノ望ムノ場所ニ非ス自然之ヲ預托スルニ由リ
ルニ場所ナルヲ故ニ總テ地方銀行ハ其ノ準備金ヲ龍動ニ預托
シ該地ノ市街ニハ只其市街ノ流融高務ヲ執行スル為メニ入用
ナル者少許ノ金額ヲ保有スルノミ是レ全ク長久ノ實驗ニ由
テ其流融ニ入用ナル高ハ幾何ナルヤヲ精細ニ知リ得タルヲ以
テ空ク閑却ニ保存シテ元金ヲ消費シ利益ヲ失フヲ為サス渠
レ等ハ貨幣ヲ龍動ニ送り其ノ幾分ヲ以テ抵当物ヲ買入レ其ノ
餘ハ龍動ノ銀行又ハ手形投店ニ預托スルナリ蘇格蘭及ニ愛爾
蘭ノ銀行者モ亦タ殆ト其慣習ヲ同フスルニヨリ總テ其節約金
ノ如キハ之ヲ龍動ニ送テ他ノ龍動ノ貨幣ト同一ノ融通ニ付セ
ラル、モノトス此ノ如キガ故ニ英國ノ銀行ノ銀行局ニアル准
備金ハ獨リ其銀行ノ準備金ナルノミナラズ龍動全府ノ準備金

ナリ帝ニ龍動全府ノミナリ亦々英國蘇格蘭及々愛爾蘭ノ准
備金ナリ

近今ニ至リテハ我ガ負債ニ尚ホ一層ノ多キヲ加ヘ普佛戰爭以
後ハ又タ政羅巴全洲ノ準備金ヲ我々英國銀行ニ保有スルモノ
ト云フモ可ナリ元來政羅巴洲中ニ在ケル受託銀行實ニ微々タ
ルモノニテ巨額ノ準備金ヲ貯蔵スルヲ要セザル程ナレハ英蘭
及々蘇格蘭ニ需用スルガ如キ巨額ノ準備金ハ外邦ニテハ絶テ
需用スルトナレ然レモ此大社會モ亦時アリテハ正金ニテ巨大
ノ金額ヲ拂ハサルヲ得サルヲアルガ故此正金ノ大金庫モ亦々
隨テ何レノ処ニカ無カルベカラサルニシテ曩ニ政羅巴トテ此
金庫ニ充ツベシノハ佛國銀行及々英國銀行ノ二ヶ所ニテアリ
然ルニ佛國銀行ニテ正金掃ヒテ差止メタルヨリ以後ハ頗ニ
金ノ貯蔵所タルノ効ヲ失ヒ世人ノ切手ノ交換ニ正金銀ヲ

知ルノ確實ナラザルヨリ誰レアリテ該銀行ニ向ケテ切手ヲ
振出スモノナク正金に掛ノ義務ヲ負擔スルモノハ獨リ英國銀
行ノミトハナレリ蓋シ疑フ迄モナク外邦人ハ我々英國ノ金貨
ヲ我レヨリ齎シ去ル能ハス之ヲ齎シ去ラシムハ其齎シ去ル所
ノモノニ代ルベキモノヲ如何ナル形ニテモ其代價トシテ此ニ
送ラザルベカラズカレモ渠レ等ハ正金ヲ送ルヲ要セス確實フ
ル手形ヲ龍拔見徳街ニ送り割引ニテ正金ニ交換シ而シテ其ノ幾
分々又ハ總數ヲ地金ニテ齎シ去ルヲ得ベシ或ハ語ヲ易ヘテ
總テ交易ノ働作ハ倍々龍動ニ懸合スルト云フモ可ナリ曩時巴
里ハ万般ノ為メニ政羅巴ノ交換所タリレカ今ヤ此爭金ノ止ミ
又畢竟佛國銀行ノ紙幣ハ實ニ通常ノ取引ヲ攪乱スル程ニ其價
格ヲ失フタルニハ非ラザレモ其ノ下落ヤ誠ニ微少ナルニモセ
或ハ其實ナクシテ只下落ニ赴ントスルノ傾向アルニモヨ亦

大
義
首

法ク交換ノ取引ヲ攪乱ニ足ルモノアリ該銀行ノ紙幣ハ
小數ノ交換ニテモ危儀ナリ縱令ヒ一得アルモ一失アルヲ如何
セントマテニ世人ヲシテ臆測セレムルニ至レリ是ニ於テカ倫
敦ハ曩時ニ異ナリ獨リ政羅巴ノ交換取引ノ一大決算所トナ
リタリ而シテ倫敦ハ斯ル卓越ノ地位ヲ必ス永遠ニ保持スルナラ
ン何トナレバ其卓越ノ地位ニ達シタルハ全ク自然ニ出ラレ
ハナリ儲テ従来倫敦ニ向ケテ振出ス所ノ貿易上ノ為換手形ノ
高ハ他ノ政羅巴ノ都府ニ超エルヲ其ノ幾倍ナルヲ知ルベカラ
ズ則チ倫敦ニ收受スル所ノ金額ハ他ノ都府ニ比スレバ數層多
ク其出スル所モ亦タ數層多シトス是此地ノ自然ノ決算所
タル所以ナリ然リ而シテ曩キニ巴里ノ卓越ナリシハ半ハ政府ヨ
リ其ノ振カラシメシメシメ因リシカ今ヤ其ノ分ハ既ニ擾乱ニ
高シタレバ其ノ卓越モ亦タ隨テ失フニ至リント至ル倫敦ノ如

12

ハ高賣ノ正路ヲ踐テ超越感大ノ此ニ至リシナレバ其確乎不
可ナル容易ニ變轉スルモノニ非ナルナリ
今ヤ倫敦ハ獨リ他邦ノ間ニ立テル決算所タルハ又他邦ニ對シ
テ新ナル負債ヲ荷フモノナリ抑モ如何ナル場所ニテモ衆
ガ感ニ引ヲ行フ所ニ必ス巨額ノ金貨ヲ保有シ置カサル可カ
ラス之ニ因テ之ヲ觀レハ今日ニ於テ外邦ヨリ巨大ノ金貨ヲ倫
敦ニ預托シ置クハ世界ノ高賣ノ為メニ必用欠クベカラサルモ
ノナルベシ彼ノ佛蘭西ヨリ日耳曼ニ巨額ノ償金ヲ拂フノ間ニ
在リテハ倫敦ニ在ル金額(即チ倫敦ヨリ更ニ諸方ニ轉送スベキ
金額)ハ恐ラク非常ノ巨額ニアリシナラン但シ此般ノ金額ハ常
時ニ於テモ亦タ必ス巨大ナルモノナリ
蓋シ現今ノ改治上ノ形状ハ遠カラズシテ必ス一變スルナラン
此時ニ至レハ外國政府ニ屬スル金田ノ龍拔兎德街ニ在ル高ハ

龍拔兎德街

各々大ニ減少スベシト云々人民ニ属セル金田ノ如キハ倍々此
ニ集合スルニ至ルベシ何トナルハ此ノ決算所ニアル預托金ハ
元ト高賣取引ノ勘定ヲ決算セシメ為メニ必用ナルガ故ニ高賣
ノ増殖スルニ從ヒ此預托金モ亦タ自カラ増殖セサル可カラザ
ルノ理ナレバナリ

而シテ此ノ外邦ノ預托金ハ感動敏捷ニシテ一種特異ナル性質ヲ
有スルヲ又タ明ラカナリ如何トナレバ此預托金ハ偏ニ外邦人ノ
美評ニ依拠セルモノニシテ此美評ハ或ハ衰減スルヲアリ或ハ
又要評ニモ變アルヲアルヲ以テナリ例ヘハ一千八百六十六年
ノ恐慌ノ後殊ニビールスアクトノ停止ハ人々多ク此停止ス
テ正金拂ノ停止ト混迷セリノ後ニ亦テ外邦ヨリ附托セル所
ノ金圓ハ既ニ倫敦ヨリ引出サレタリキ夫レ既往ノ下ヲ以
テ之ヲ向來ニ徵スルニ倫敦ニ外人ノ預托金ノ預托高愈々増加ス

ニ從ヒ愈々英國ニ促進捕需ムル銀行ニ迫テ預托金ノ償還ヲ
時機ノ困難ノ増ハルニ必然ナルモノアルベシ

若シ一旦此促進拂ノ起ルニ違ハバ之ニ應ズヘキ金銀塊ハ乃チ
英國銀行ヨリ引出サバ爾ヲ得ス蓋シ英國銀行ヲ舍キ他ニ國
ニ之レト比肩スベキノ大金庫アラズ故令ヒ巨豪ノ銀舗ニシテ
自己ノ便宜ニ供スル丈ケノ些少ノ金額ヲ所有スルアルモ連モ
英國銀行ニ比較スベキ程ノ準備ヲ所有セサレハナリ故ニ若シ
外邦ノ債主必シク寛裕ヲ加ヘ時日ヲ猶預シ金銀塊ノ國內ニ入
リ来ルヲ待テ之ヲ買ハバ決シテ英國銀行ヲ勞スルヲナク又タ
銀市ヲ苦シマシムルヲ無シテ容易ニ任拂ヲ受クベキナリ看
ヨ近時日耳曼政府ノ實ニ寛仁大度ニシテ必シモ恐懼ノ念慮ヲ
懷カカリシヲ然リトシモ徒ニ恐懼ヲ抱クノ債主ノ如キハ決シ
時日ヲ猶豫スルヲナキ故ニ此輩ノ急迫ニ金銀塊ヲ受取ラ

ト望ムニ於テハ輒テ英國銀行ニ采リテ之ヲ求メサルヲ得カ
ルナリ

前述ノ次第ニ由レハ我ガ信用調停ハ偏ニ英國銀行ニ依頼ス
ルモノ、如シ然ラハ則チ英國ノ償還ト不償還トハ全ク此一合
本會社ナル英國銀行ノ支配人ノ才幹ニ依ルモノナリトス斯ノ
言或ハ強大ニ過ルニ似タレト決シテ然ラズ何ナレド然テノ
銀行ハ英國銀行ニ依頼シ又總テノ商人ハ或ル一二ノ銀行者ニ
依頼スレバナリ例ヘハ茲ニ一商人アリ豫テ或ル銀行者ニ志万
磅ヲ預ルニ置キシニ今之ヲ日耳曼國ニ在ル某氏ヘ拂渡サン
ヲ望ムニ當リ其銀行者ヨリ彼ノ商人ニ拂ヒ得ルニ非サレ
タリハヨリ之果氏ヘ拂フニ能ハルベシ而テ又夕英國銀行
ノ困難時ニ際レ該銀行ノ準備金ヲ拂出スニ能ハサルニ
銀行者ハ又夕彼ノ高價ヘ拂渡スニ能ハザルベシレハナリ

ろ14

定ニ由テ觀レバ英國銀行ノ支配人タル者ハ名目ニヨツテ顯ハレ
ルニ實際ニ於テハ衆ノ爲メニ銀行準備金ヲ保護スヘキ一
般ノ被任者ナト云フベシ之レニ依テ自然支配人タル者ハ月
ラカニ此ノ旨ヲ領シ誓テ其職務ヲ尽サンニ從事スルニ
タ然ラズシテ私利ヲ謀ルノ念ハ此職務ニ任スルヲ要セザル程
ニ其レキトモ豫想サルモノアリ然レト該銀行支配人ハ此職
務ヲ尽サントテ顯然タル举措ヲ為ス杯ノ沙汰ニ非ス之ヲ識認
スル人サヘ甚タ罕レニシテ或ハ全ク之ヲ排却スル者アリ該銀
行支配人中ノ一人ナル竊モ深慮ニシラ且ツ能ク事務ニ練磨セ
ル「ハンケ」氏ガ曾テ著ハシタル英國銀行記(該銀行ノ實地事業
ノ景況ヲ叙述シタル善本)ニ云ハル「アリ」余ハ此銀行局ノ執業
ノ主意ニ就テハ茲ニ歩モ立入ルヲ欲セス何トナレハ該銀
行局ガ事務ヲ施行スルノ正義ハ余ガ知ル所ニテハ龍動中ノ施

行且シキヲ得タル諸銀行 異ナルヲナキヲ以テナリト然リト
強氏出版セラレシ所ニ表ニ於テ之ヲ見ルニ該銀行局ハ其負債
高ノ百分ノ三十乃至百分ノ五十ノ割合ナル巨大ノ準備ヲ銀行
紙幣及ヒ金銀貨幣ニテ所蔵シ而シテ他ノ諸銀行ハ唯タ店口開ク
ニ入用ノル文ケノ些少ノ金貨ヲ銀行紙幣及ヒ金銀貨幣ニテ所
蔵スルノミ此ノ如キノ差異アレハ以テ兩銀行ガ同一主義モ
テ執業スルモノニ非カルトテ領會スルニ餘リアリ豈ニ之ヲ同
一視シテ可ナランヤ

吾人ノ共ニ知ルガ如ク該銀行ノ実践ノ事業ハ實ニ大ニ改良シ
今ハ更ニ龍技見徳街ノ他ノ諸銀行ノ如ク執業ヲ為サス其
備ノ種類及ヒ金額ノ如キモ全ク他ニ異ナレルモノヲ所蔵
夫レ實地事業ハ此ノ如ク已ニ修整ニ属シタト強氏其論
至リテハ未タ其ノ歸着セシ所アルニ見サルガ如シ何トナレ

ろ

該銀行ノ支配人ハ準備金ノ幾許ノ高ヲ所蔵シ幾許ノ高ヲ超
スルハ所蔵セカレ見込ナルヤ又ク此ノ重要ナル事件ハ何等
ノ我ニ於テハ理スルヤノ極メテ尋常ナル方法ヲサヘ未タ
亮ニ定説ヲ議決シテ之ヲ世人ニ公告セシマラザレハナリ
銀行支配人ノ地位タルヤ實ニ特異ナルモノナリ一方ニハ大
内ノ衆説(數度ノ恐怖ニ遭遇セシヨリ一般人民ハ實地經驗上頗
ル銀行ノ実情ヲ知り得タレハ余ハ呼テ一大輿論ト云フ)アリテ
喋々支配人ニ向ヒ巨額ノ準備金ヲ保有セシムルヲ要求シ又ク諸
新聞紙ハ國民ニ代リテ常ニ支配人ニ向テ之ヲ保有セシムルヲ勸
戒シ且ク銀行ノ實ニ之ヲ保有スルヤ否ヤヲ注視監察スト強氏
又他ノ一方ニハ隱微ニシテ前者ノ比ニハアラサレ氏亦タ等シ
ク當時不断ニ切迫シテ前者ノ表裏ノ説ニ出テ頻リニ管理者ヲ
刺戟シ其ノ準備金ヲ減縮セシメント企ル者アリ

義
旨

凡銀行ノ管理者ガ其株
ルハ又々自然ノ情望ナリ抑銀行ノ金貸閉却セルモノ少ナケ
レハ株主ノ利益配分ヲ受クル自ラ多ク金貸閉却セルモノ多
ケレハ其ノ配分ヲ受クル自ラ少ナレ故ニ英國銀行ノ株主ノ
集會毎ニ未タ曾テ此事ノ討論ニ及バサルコトアラサルナリ嘗
テ或ル株主癸論シテ曰ク余ハ何故ニ斯ル巨額ノ金貸閉却ニ
保有セザルベカラサルヤノ理由ヲ知ラス何ソ配分ヲシテ今ヨ
リ層多カラシメザルヤト突ニ談英國銀行ノ特主カ其今日ノ
地位ニシテ満足トセザルハ敢テ怪ムニ足ラサルナ
リ下文ニ於テ次第ニ其ノ所以ヲ述ブベ
談銀行ハ此ノ私府ニ於テハ軍モ年元ノ銀行ナリ然ルニ他ノ
銀行ノ利益ハ速カニ増シタレモ談銀行ノ利益ハ更ニ増カセ
テ見ズ其ノ証ハ一系ハ百四十四年ニ於テ談銀行ノ利益配分

ノ百分ノ七ニシテ株券ノ時價ハ二一ニナリシカ現今ノ配分ハ
百分ノ九ニシテ未券ノ時價ハ二三ニナリ然ルニ之レト時同
フレテロンドンセントウエストミストル銀行ノ株券ハ資本
ニ一倍ノ増額アリレニモ拘ハラズ二十七ヨリ六十六迄ニ
其ノ利益配分ハ百分ノ六ヨリ百分ノ二十迄ニ上リタリ然レハ
則ニ英國銀行ノ特主ガ他ノ銀行ノ吾レヨリ富盛ニ進ムヲ見ル
ヲ快トセザルハ亦々自然ノ常情ナリ
談銀行ノ利益配分ノ卑下ナルト之レニ從テ株券ノ價格ノ低賤
ナルトノ原因ハ疑ヒモナク幾分カハ銀行資本ノ巨大ナルニ在
ルベシト蓋氏多クハ談銀行局ニテ閉却ニ保有スル所ノ不産貸
幣(更ニ利息ヲ生マサル)ノ巨額ナルニ歸セサルヲ得サルナリ今
ロンドンセントウエストミストル銀行(世ノ稱譽スル所)合
本銀行中ノ第一ニ位シ且其ノ執業上最モ慮ヲ深クシ意ヲ致

トノ世評アルト英國銀行ト比照セバ容易ク其ノ差異ヲ見
ルニ足ラン何トナレハロンドン、エントウ、エストミンストル銀
行ノ閑却ニ保有スル所ノ金額、僅ニ其負債高ノ百分ノ十三ノ
ミナルニ英國銀行ニテハ其負債高百分ノ四十以上ヲ閑却ニ附
スレハナリ而銀行ノ執業上ニ於テ此ノ如ク夫レ大ナルノ差異
アル上ハ後テ其ノ利潤ニ大ナル差異ヲ生セサルヲ得、乃チ生
スルノ理ナリ然リ而テ談銀行ノ株主ガ此ノ如クニ大ナル差異
アレンヲ嫌厭スルハ亦ツ必然ノ情勢ナレハ株主ハ則チ多ク常ニ
支配人ニ迫リ勉メテ其ノ不産ノ准備額ヲ減シテ勉メテ其受ル
所ノ利益配分ノ多カラントヲ論スルハ亦タ必ムトヲ得、
然レニ概テ他ノ談銀行ニ於テハ准備金ヲ減スベシトハ株主
ニ要求ヲ禁制スルニハ強強ナル恐懼アリトス何ヤ株主等ハ

カ銀行ノ信用ヲ損害シテ其ノ恐懼スベケレバナリ然ルニ幸
カニ至リハ姑ク尙キ英國銀行ニ就テハ誰アリテ此ノ如キ恐懼
ヲ猶クモノナシ、苟モ英國社會ニアル者ハ蓋シ皆テ談銀行ハ破
産ニシカラザルモノト信許セザルハナシ然レモ談銀行ノ破
局ハ一千八百四十四年以來三たび他ノ救護ヲ仰キタリ若シ之
ヲ仰カズンバ或ハ破産シタルナラン又タ一千八百二十五年ニ
於テ殆ント悉皆ノ仕拂ヲ差止ムルノ場合ニ陥リ一千八百九
十七年ニ於テハ實ニ之ヲ差止メタリシガ談銀行ハ信用ハ此ノ
如キ経歴ト賤劣ナル証蹟アルトニ拘ハラズ尚ホ依然トシテ消
散セザリシナリ是ニ因テ之ヲ觀レバ此ノ兩歳ニ於テモ談銀行
ノ有様(利益配分アリシト否ニテ)リシトヲ問ハズハ極メテ正確
ハ形状ヲ現ハシタリ何トナレバ竟ニ其ノ負債ハ悉皆其ノ債主
ニ償却シ抹金ハ悉皆其ノ株主ニ返償スルヲ得タレハナリ然

歳
目

期限拂ハ債主ノ好マシキ所ニシテ其ノ好ム所ハ延期拂ニ
アラズ即時拂ニ在レバ債主等ハ乃チ約定通りニ償還サレ
テ欲スルナリ何トナレバ其ハ契約ニ拠レバ債主ハ何時ニモ
要求次第ニ銀行ヨリ正金ヲ領収スルヲ得若レ其ノ時銀行ニ
テ之ヲ拂ハザレバ債主ハ銀行ヲ破産セシムルヲ得ベケレバ
ナリ

然リ而シテ前記ノ兩年ニ於テハ英國銀行ハ實ニ即時拂ヲ為ス
能ハザリシナリ然レモ倫敦中一人ノ未タ曾テ夢ニダモ該銀行
ノ信用如何ヲ疑フモノナク該銀行モ亦タ自カラ其ノ信用ノ危
険ニ留サラントハ夢ニダモ想ヒシナリ總テ各人ハ免カ
該銀行ハ復タ確實ノモノタルニ相違ナシト思惟シタルナリ
之
金額甚タ僅少ニ及ビシト政府ハ該銀行ニ令シテ現ニ残ル所

金莫ハ軍早ヤ之ヲ拂出ス及バサルノミナラズ又タ拂出ス
ベシトバト迄ニ言渡レタリ是ニ於テビールスアクトヲ破ルベ
キ此ノ特許状ノ効カハ世人ヲシテ政府ガ親シク該銀行ノ背後
ニ在リ何時ニテモ應機ニ之ヲ扶助スルヲラメト確信セシ
ニ至レリ故ニ該銀行又ハ其ノ銀行局ハ常ニ其ノ仕拂ノ局ヲ結
ビ復タ残餘ノ金負ナキニ至ルベキノ意想ヲ抱クヲナク世
人モ概シテ皆テ該銀行カ英國國民ノ資産ヲ破ラントハ思料セガ
ナリ
自來一個ノ銀行ナル英國銀行ハ他ノ銀行ヲシテ巨額ノ準備金
ヲ所蔵セシムルガ如キ常時不測ノ恐懼(信用ヲ失フノ恐懼)ヲ免
カレタレバ其ノ管理者タルモノハ特ニ意ヲ用テ其準備金ヲ
所蔵スヘキハ勿論十分ノ高ニ所蔵スヘキハ亦タ格別ニ要ナ
シ思ハル然レモ該銀行ノ支配人ハ其ノ執業ノ為メニ自己ノ

身代ヲ賭物トセザルハ余ガ故ラニ喋々スルヲ用ヲサレモ明ラ
カナルモノナリ何トナレバ渠レ等ハ皆ナ此ノ都府ノ豪高ニシ
テ其ノ銀行ニ入ル、所ノ金額、其ノ富有高ニ比スレハ甚々些
少ナルニヨリ若レ一旦該銀行カ破産シタレバトテ其ノ歳入ニ
於テ格別ノ影響ヲ蒙ムラザルベケレバナリ加之ノミナラズ渠
レ等ハ練熟ノ銀行者ニ非ス而メ又タ此ノ業務中ニ養育サレタ
ルノ人ニモ非ス概ネ此ノ業事ニ於テハ專ラ其ノ心カラ尽サバ
精神ノ過半トハ自己ノ高賣ニテ利益ヲ博取セシトニノミ占有
セラレテ餘暇少ナキモノタレバナリ
世人ハ又此ノ重太ナル公務ノ全ク英國銀行ノ銀行局ニ委任
セラレ上ハ貴顯ノ官吏、議院ニ非スレバ該銀行ニ向テ此ノ職務
ヲ尽スヘキ旨ヲ命シタレナラント豫想スベケレバ曾テ議院ニ

任テハ分明ナル決議ヲ以テ此ノ如キ旨ヲ命シタルト無ク又タ
権ヲアル官吏ノ一言ヲモ蒙ムリタレトナク却テロベルトビ
ル若ラ始メトシテローウ君ニ至ルマデ續々布述サレタル明告
アリ其ノ言ニ云ク英國銀行ノ銀行局ハ他ノ尋常ノ銀行ノ如
銀行ナリ他ノ尋常ノ會社ノ如キ會社ナリ又タ銀行ナル能カニ
於テモ特別ナル地位ヲ占ムルニアラサレバ全ク公衆ニ對スル
ノ義務ヲ負ハザルナリト然ルカ故ニ英國官吏ノ十中ノ九迄ハ
英國銀行ノ銀行局ノ執業上ニ関シテ尋問サル、トアガバ輒テ
答テ云ハントス該局ノ執業ニ就テハ我輩及ビ議院ノ干涉スヘ
キ事務ニ非ス獨リ該銀行局ノミ須ラク之レヲ監視スヘキナリ
ト
究竟スレハ吾人ハ我々銀行準備金ノ特別ナル看守ヲ以テ殊ニ
職事ニ不熟ナルガ上ニ道場ノ琢磨ヲ經ス。又タ此ノ準備金ヲ減

縮マザレバ世間ノ影響如何ナルヤヲ顧リミス。又タ此ノ準備金
ヲ減縮セサル様ニ保守スヘキノ義務アルトヲモ知ラス。又タ曾
テ或ル貴顕ノ官吏若シクハ政府ヨリ此ノ準備金ヲ斯ク保守ス
ヘキゾ又タ斯ク保守スベキ職務ヲ負ベル者ゾト言ハレタルト
ナク。又タ此ノ準備金ヲ減縮スレハ徒テ巨額ノ歳入ヲ収ムベキ
者ニ非ス。又タ縦令ヒ一朝ニシテ此ノ準備金ガ散逸シ浪費サル
ハニ至ルアルモ敢テ破産ヲ恐レザルガ如キ銀行支配人ノ一手
裏ニ專任シタルモノト云ハザルヲ得ス。

此ノ如キ組成ノ如何ニモ不可思議ナル所以ハ學ニ明亮ナリト
云フ可シ然レモ其ノ不可思議ナル所以ヲ了知センニハ國立銀
行豫備金ノ看守トハ抑モ如何ナル意味アリヤ又タ其ノ看守ナ
ル者ハ如何様ニ微妙ニシテ如何様ニ困難ナルヤヲ知得スルニ
非ザレハ以テ十分ニ領會スルヲ得ザル可キナリ

